

「結婚」についてのアメリカと日本の大学生の意識

マシュー・ジン

カリフォルニア州立大学モントレイベイ校

要旨

近年、日本でもアメリカでも結婚率が下がっている。その背景としては両国の若者たちは結婚せずに独りでの自由を求めているという理由があげられている。この調査では日本人の学生とアメリカ人の学生を対象に彼らが結婚するかしないかを決める要因は何か、また、若者は結婚に何を求めているかを探った。その結果、大半の日本の学生もアメリカの学生もいつかは結婚をしたいと思っていることが明らかになった。また、結婚した後は対等に家庭の仕事を分担するべきであり、結婚はお互いを信頼し合うこと、コミュニケーションをとることがとても大事だと思っていることが分かった。さらにおもしろいことに、結婚する前にしばらく一緒に暮ることが望ましいと思っていることも分かった。

はじめに

日本では結婚率が低下しているという最新の調査がある。この調査が正しいかどうか、その理由は何なのかに興味を持った。どうして日本人が結婚しないのか。日本に留学している時、現在の日本の若者にはあまり結婚志向がないと耳にした。結婚生活には、伝統的に明確な男女の役割があるとも聞いたが、これが原因なのか。また、もし若者達が結婚するなら、何歳ぐらいでしたいのかなどについて、キャプストンを通して研究し、そしてアンケート調査をしようと思った。

1. 重要性

アメリカと日本では結婚率が低いといわれている。結婚したいかどうか、結婚するなら、何歳ぐらいでしたいのか、結婚に何を期待するのか、結婚すると、男は働き、女は家事をするというような明確な役割分担があるかどうか、などについて、現在の日米大学生の結婚に対する意識と考え方についてを明らかにしたい。

2. 研究質問

1. 日本人の大学生とアメリカ人の大学生が結婚を決める要因は何か？
2. どのようなことを結婚に期待しているのか

3. 研究背景

3.1. 研究背景の概要

この研究背景は、アメリカ人と日本人の結婚率の低下について、そして、結婚するのか、しないのか結婚に対する色々な考え方について調査をした。

3.2. アメリカと日本の結婚率、未婚率と離婚率

図 1 : アメリカと日本の結婚率

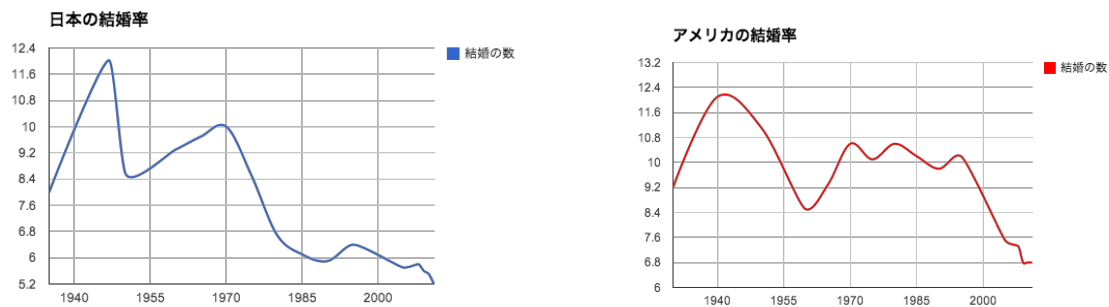
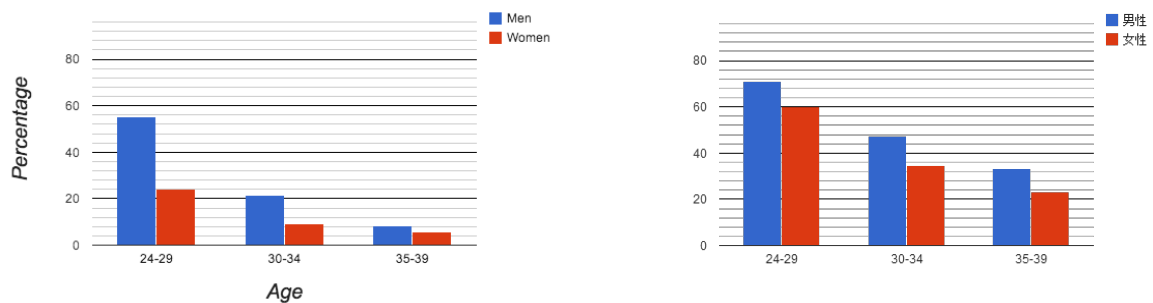


図 1 は、現在の日本とアメリカの結婚率は過去十年間でもっとも低い数値を示している。

図 2 : 日本で 1980 年と 2010 年の男女の未婚率



1980年

2010年

図 2 は、1980年と2010年を比較してみると、男未婚率約20%、女約40%の増加を示している。

図3：アメリカと日本の離婚率

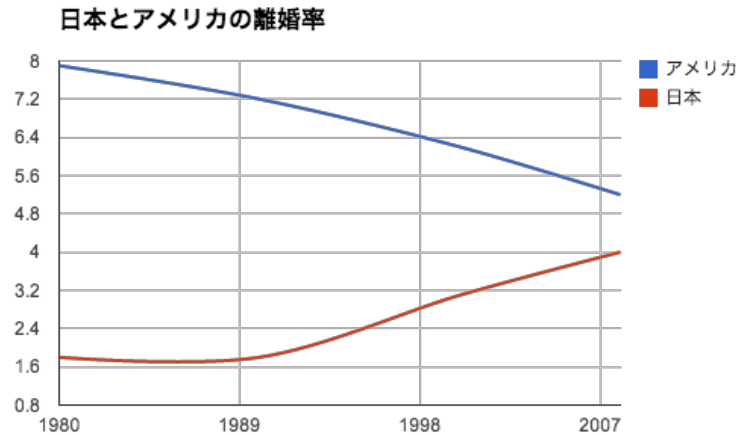


図3は、日本の増加している離婚率とアメリカの減少している離婚率を示している。アメリカでは結婚率が低いため、離婚率も低いと考えられる。

3.3. 結婚の低下

日本で結婚率が低下している理由は、坂井によれば、多くの女性が大学に進学し、卒業後はキャリアを目指して就職するようになったため、伝統的な男女の役割を好まなくなったためと指摘する。一方、男性は女性の独立と自己尊敬を恐れている。そして男性は男女の関係がわずらわしく女性は自分の自由と独立を妨げると考えている(坂井, 2003)。

3.4. 水商売と風俗の関係

水商売と風俗も結婚率低下に関係があると思われる。日本人は水商売と風俗との関係を利用して男女の関係をお金で買えると考える。この場合デートして、結婚して、子供を作るというわずわらしプロセスを回避できる(Duffy, 2013)。クラブやホストクラブは若くて魅力的な男性、女性ホスト・ホステスが客の隣に座って接待をする飲酒店で、顧客は一ヶ月に五百万円以上クラブで使うこともある。援助交際は男性が女性に金銭を払って交際することで、女性は援助交際で稼いだお金で服やかばんを買う。たいていの場合、交際はセックスに関係がない(Thollar, 2003)。

3.5. 結婚における期待

アンケートによると、結婚する理由でほとんどのアメリカ人は愛、一方、日本人の多くは精神的安らぎを求めていることと子供を持つことを挙げている。結婚の相手として、日本男性が好む女性の性格は、アンケートから、日本男性は癒しを与えてくれて、子供好きの女性を好み、日本女性は優しく自信にあふれた男性を好んでいることがわかる。結婚後の男女のお互いに対する期待について、女性は家庭を支えるばかりでなく、外で働いているので、男性にも家庭や子育てを支えることが期待されている。

4. 研究

4.1. 研究方法

この調査には66人の大学生、内、日本人29人、男性10人、女性19人と、アメリカ人37人、男性23人、女性14人にオンラインアンケートを行った。

5. 結果

5.1. 研究質問 1

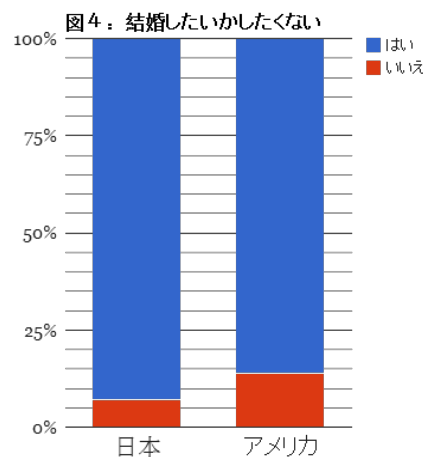


図4からわかるように、ほとんどの日本人とアメリカ人が、いつかは結婚をしたいと回答した。

図5：結婚したい理由

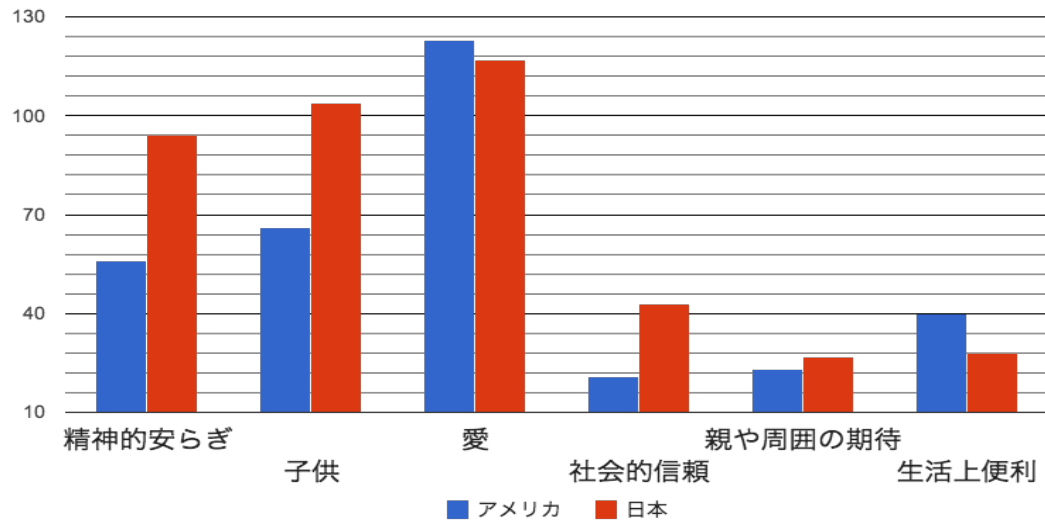


図5からわかるように、日本人もアメリカ人も、「愛する人と生活を共にするため」、「子供を持つため」、「精神的な安らぎを得るため」が主な理由だった。

図6：両親の結婚生活の...

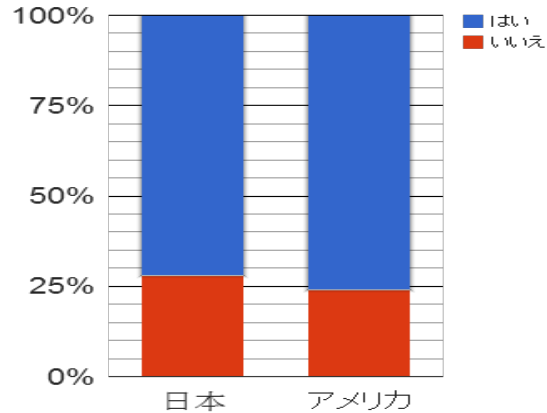


図6からわかるように「あなたの両親の結婚生活はあなたの結婚観に影響していますか。」という質問に対して、多くの日本人もアメリカ人も影響していると回答した。

図7：現在結婚していない理由

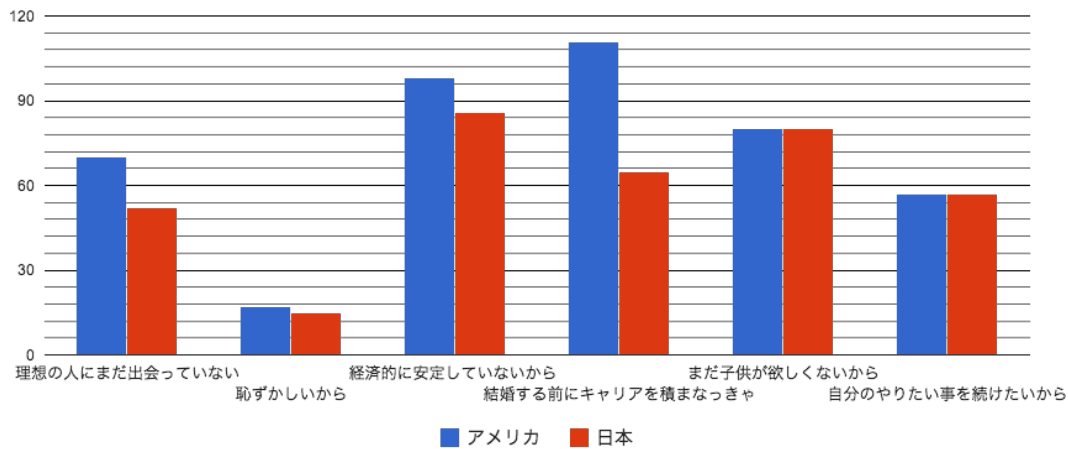


図7からわかるように、日本人は「経済的に安定していないから」、「まだ子供が欲しくないから」で、アメリカ人は「仕事に集中したいから」、「経済的に安定していないから」が主な理由だった。

図8：独立でいることのメリット

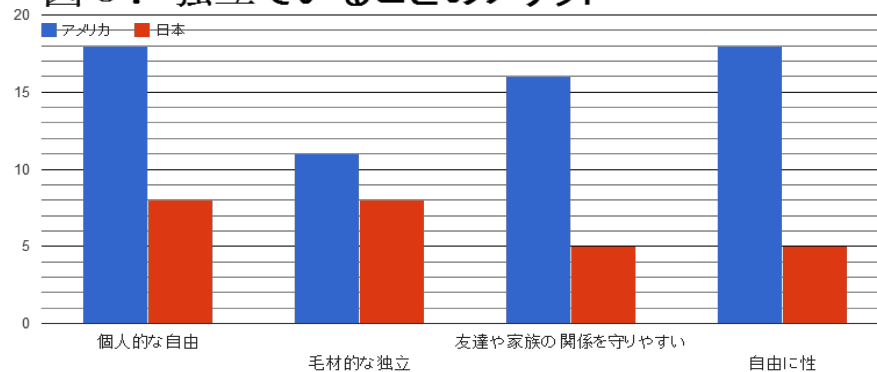


図8からわかるように、アメリカ人は「個人的な自由があるから」、「性の自由があるから」で、日本人は「個人的な自由があるから」、「経済面での自立ができるから」であった。

5.2. 研究質問1の結果

ここで研究質問1の結果をまとめると、ほとんどの回答者が、いつかは結婚したいと思っている、と答えた。回答者の大多数が両親との関係が自分の結婚観に影響して

いる、と答えた。アメリカ人学生も日本人学生も、結婚への主な理由は「愛、子供、精神的な安らぎ」だった。独身でいることのメリットとしては「個人的、性的、そして経済的な自由を持てること」が挙げられた。

5.3. 研究質問 2

図 9：理想の結婚年齢

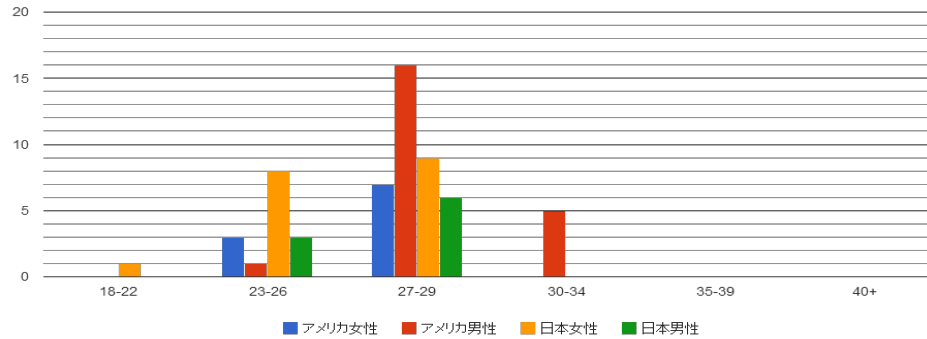


図 9 からわかるように、多くの回答者が、27歳～29歳が理想の結婚年齢である、と答えた。

図10：どれくらい付き合ってから結婚をするべき

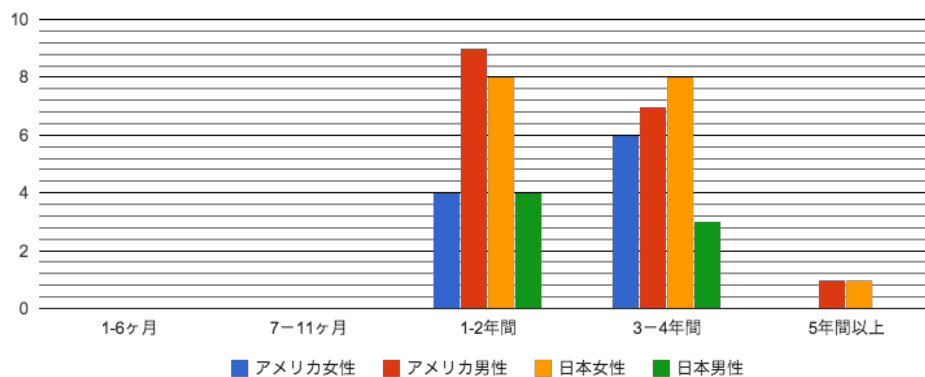


図 10 からわかるように、1~4年間付き合ってから結婚するのが理想と答えた。

図11 a: アメリカ女性

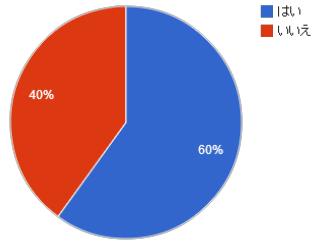


図11 b: 日本女性

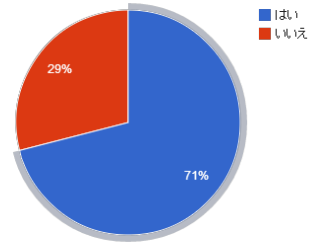


図11からわかるように、両国の女性の大部分が、男性全員が自分より年下の人と結婚してもいいと答えた。

図12: どれぐらい年下の方がいいですか

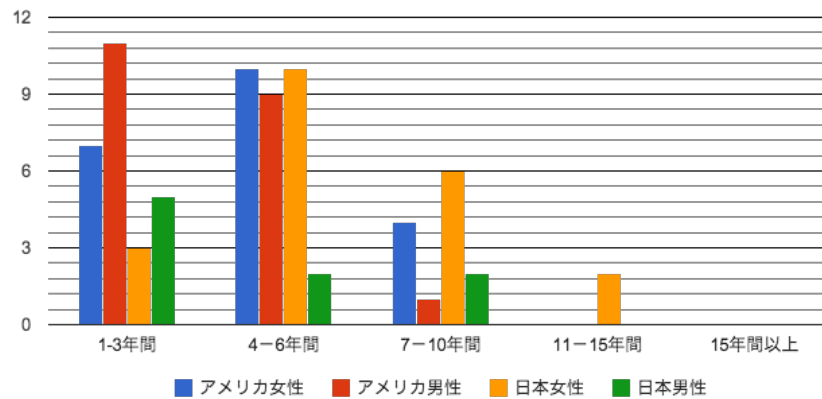


図12からわかるように、両国の男性、女性回答者の大部分が、自分より1~6歳年下の人なら結婚してもいいと答えた。

図13a：アメリカ男性

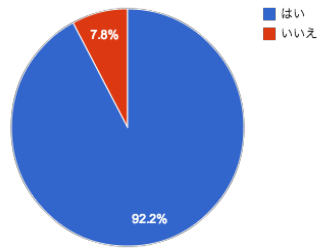
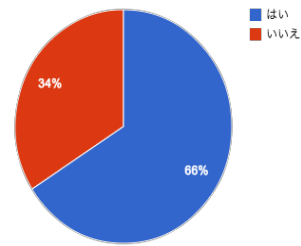


図13b：日本男性



次に図13からわかるように、両国の大部分の男性、女性全員が、年上の人と結婚してもいいと答えた。

図14：年上の人と結婚してもいいですか

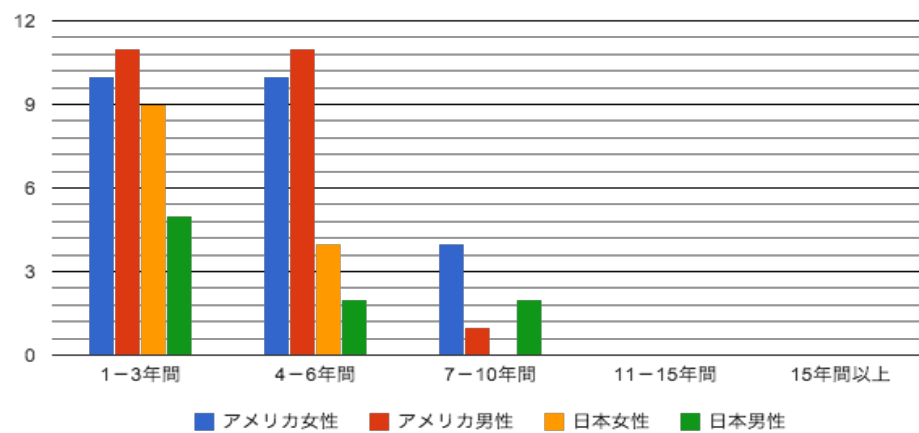


図14からわかるように、両国の女性の大部分が4~10歳年上の人、男性の大部分が、1~6歳年上の人なら結婚してもいいと答えた。

図15：結婚後、夫婦が協力して行うべき役割

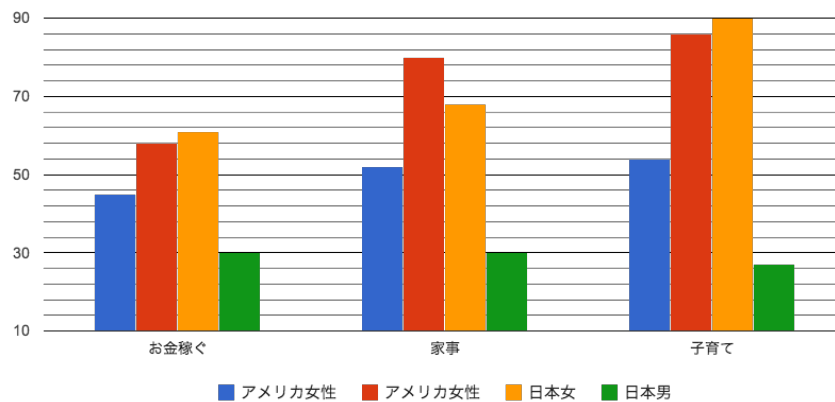


図15からわかるように、ほとんどが、夫婦は全ての役割を可能な限り平等に行うべきであると答えた。自分には何の役割が求められるかという質問には、大部分が、夫婦それぞれに求められる固定的役割はないと答えた。

図16：結婚における最も重要な要素は何ですか

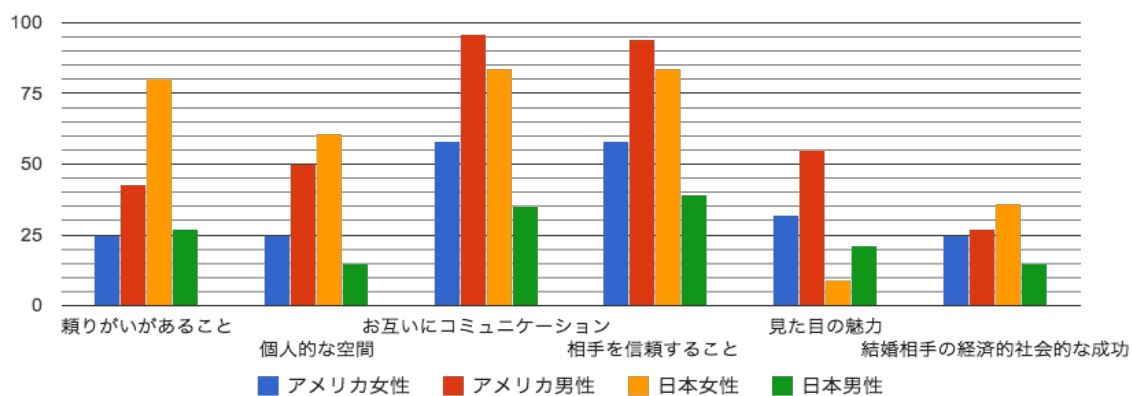


図16からわかるように、ほとんどがコミュニケーションと信頼と答えた。

5.4. 研究質問2の結果

理想の結婚年齢は、27-29歳で、回答者の多くは、結婚前に約1~2年間付き合うべきであると答えた。結婚相手に求める年齢については男性全員および女性の大多数は

1~6歳年下、女性全員が4~10歳、男性の大部分が1~6歳年上の人と結婚してもいいと答えた。また、男女の大部分が、結婚後の夫婦の役割は可能な限り平等に行うべきだとした。両国の男女とも、結婚で最も重要な要素は「コミュニケーションと信頼」であると答えた。

6. 結論

6.1. 結論と考察

結婚率が低下しているという最新の調査があるにも関わらず、回答者の大部分が、将来結婚したいと回答した。その主な理由は愛と子どもが欲しいから、ということであった。しかし、結婚したいという望みと、実際に結婚するということは異なっている。日本人回答者は、一家の稼ぎ手、家事、育児など、結婚後の役割は平等であるべきだと考えている。わずかだが、将来結婚したくないと答えた回答者がいた。その主な理由として、「経済的、性的に、生活の自由を失いたくない」という点が挙げられた。この調査の結果、理想の結婚に対する考え方は両国で非常に似ていることがわかった。その理由は日本人回答者の多くが、現在アメリカに留学している学生であったからかも知れない。

6.2. 研究の限界点

今回の研究の結果は回答者が少なかったので一般化しにくいこと、大学生という限られた年齢層を対象としたこと、両国の男性、女性回答者の数が同じでなかったことであった。

6.3. 今後の研究

回答者の人数を増やすこと、大学生の結婚に対する考え方に影響する要素についてさらに調査にすること、結婚だけではなく、同棲についての意見も調査すること、を今後の研究課題にしたい。

参考文献

- Ballantine, J. H., & Roberts, K. A. (2010). *Our social world: condensed version* (Condensed version. ed.). Los Angeles, Calif.: SAGE/Pine Forge Press.
- cohabitation. (n.d.) *West's Encyclopedia of American Law, edition 2*. (2008). Retrieved April 10 2014 from <http://legal-dictionary.thefreedictionary.com/cohabitation>
- Duffy, R. (2013, October 22). The Japanese Love Industry. *YouTube*. Retrieved April 21, 2014, from <http://www.youtube.com/watch?v=qpZbu7J7UL4>
- Elias, J., & Dales, L. (2013). *The global political economy of the household in Asia*. : Palgrave Macmillan.
- Espenshade, T. J. (1985). Marriage Trends in America: Estimates, Implications, and Underlying Causes. *Population and Development Review*, , 193.
- Fukuda, S. (2013). The Changing Role of Women's Earnings in Marriage Formation in Japan. *The Annals of the American Academy of Political and Social Science*, , 107-128.
- Kaneko, I., & Ueda, K. (2012). A Study on the Perception of Marriage by University Students: Based on a Survey of Students Majoring in Education. *Research Journal of Ohkagakuin University*, 14, 29-35.
- Lundberg, S., & Pollak, R. A. (2013). *Cohabitation and the uneven retreat from marriage in the U.S., 1950-2010*. Cambridge, Mass.: National Bureau of Economic Research.
- Thollar, S. (2003). The Emergence of Enjo Kosai in Japanese Society, and Whether or Not It Should be Labeled as Child Prostitution. *Memoirs of Hokkaido Information University*, 15, 15-32.
- Wiseman, P. (2004, June 2). USATODAY.com - No sex please we're Japanese. *USATODAY.com* - *No sex please we're Japanese*. Retrieved April 25, 2014, from http://usatoday30.usatoday.com/news/world/2004-06-02-japan-women-usat_x.htm
- 夜のおもてなし 日本一のホスト - The King of Hosts. (2014, April 10). *YouTube*. Retrieved April 21, 2014, from <http://www.youtube.com/watch?v=B1plfLIaviE>